

静かに確かに近づくと春

二月は如月。まだまだ寒くて重ね着をするから衣更着(きさらぎ)とか、寒い冬が終わって春が来るから如月(によげつ)とか、由来はいろいろな説があるそうです。二月はまた雪消月や梅見月という呼び方もあります。先日、境内にあるネコヤナギが白い花穂をたくさん咲かせました。気づかないうちに静かに確かに春が近づいているのですね。

二月十五日は、お釈迦さまが亡くなられた涅槃会です。たくさんのお弟子や動物たちに見守られ、しずかに息を引き取られました。諸行は無常、すべてのものは移ろいゆくことを、身を

御和讃をいただく

弥陀の尊号称えつつ

信楽まことに得る人は

憶念の心つねにして

仏恩報ずる想いあり

正像末和讃

持ってお示しくださいだったのでした。先が見えないコロナ禍も永遠に続くわけではありません。状況は変わっていきます。医療関係者やたくさんの方が頑張ってくださいです。私たちは、今しばらく日々手を合わせつつ、謙虚に冷静に行動して



阿弥陀如来の尊い御名の

南無阿弥陀仏を称えながら

第十八の眞実信心に恵まれ

た人たちは阿弥陀様をした

う憶念の心が絶えないで仏

の御恩報謝の想いが満ちる

春季永代経

2月21日(日)

13時30~

コロナ対策のため 夜座・法話はありません。老人会の追弔会は中止です。お参りの際は間隔を空けてお座りください。

- 二月(如月) 予定
一五日(月) 涅槃会
一六日(火) 親鸞聖人ご命日
二〇日(土) お花たて一三時
二一日(日) 永代経 一三時半
二七日(土) お講 十一時

いきましよう。

お尋ねします 住職・総代

宗祖の大遠忌法要のときお借りしました左の写真のような座布団(五枚箱入り)が、間違っただけのお宅に返却されてお返しできないままになっています。お心



当たりの方は寺まで(35・3492) 連絡下さい。

これだけは知ってしよう

浄土眞宗の教章

(私の歩む道)

(私の歩む道)

宗名 浄土眞宗

宗祖 親鸞聖人

本山 龍谷山 本願寺

本尊 阿弥陀如来

(南無阿弥陀仏)

聖典

お釈迦さまの教え

仏説無量寿経(大経)

仏説観無量寿経(観経)

仏説阿弥陀経(小経)

宗祖の主な著述

「正信心仏偈」(正信偈)

「御和讃」

浄土 高僧 正像末



年末の大雪。親鸞様が真っ白な帽子をかぶり、ショールをしておられるかのうようでした。

絶景！ お寺めぐり(満月寺)

近江八景「堅田の落雁」で有名な浮御堂です。臨済宗大徳寺派の海門山満月寺という風流な名前のお寺で、中国風の山門が迎え入れてくれました。立派な松の枝をくぐり橋を渡って浮御堂にお参りしましたところ、堂内にはたくさんのお弥陀様が納められていました。伝説によると恵心僧都が比叡山から琵琶湖が光るのを見つけ、網ですくってみるとそれは黄金のお弥陀仏だったとか。そこでその場所に御堂を建て千体の阿弥陀仏を安置して、魚類殺生の供養や船の安全を願ったのだそうです。なお、近くには浄土真宗本願寺派のお寺で蓮如上人とも縁が深い本福寺もあります。コロナが落ち着いたころ、あらためてお参りしてみたいと思いました。(住職)



二月(如月)風景 節分

己がする
一つひとつを
鬼見てる



暮らしの中の仏教語

「上品・下品」

とかく世間には何事にも上と下の区別とか品別があるものだ。洋服着物持ち物にも上品さの感じられるものとそうでないものがある。人の立ち居振る舞いや人格にも上品さといやみを感じさせられるものや人柄が有ろう。

今日では品の字をヒンと読みますが古語の仏教語ではボンと発音されていました。

「仏説観無量寿経」観経では、極楽往生を遂げる人と方法として、上品往生(じょうぼんおうじょう)中品往生、下品往生(げぼんおうじょう)の九とおりの極楽往生が説かれています。私は何品往生でしょうか。それはあなたの行ない次第といわれますが、「ご安心、阿弥陀様は九品全ての人をすくい取るための南無阿弥陀仏となられてくださっているのですから。」

老僧雑感

「散髪屋で」

先日、坊守の車に乗せてもらって、ビックへ散髪にいった。ビックへ着くころになってカバンを持ってないのに気がついて大慌て、さあどうしよう。さいわい坊守が財布を別に用意していてくれてやれ安心、先客は二人でうち女の人が一人で時間が長かかりそうなので一瞬いやな気がした。料金は1100円だ。

ところが、この店では料金は自動巻売機になっていて、あいにく100円コインの持ち合わせがなくてさあ困ったどうしようとおわてると、その状況を見てその女性が「わたしが両替えしましょう」と言ってくださり、やれ安心、なんていい方なんだらうと感謝し感心し尊敬の想いまでしてしまった。わたしはなんて自己中な人間なんだろうと自分が少しいやになり反省させられたのですが、心って自分の都合で一瞬にしてころと変わってしまうやつなんだと実感した。でも、おかげで頭も心もスッキリした散髪だった。

仏教詩人尾田惣平

今日生くの詩

「つまるところ」

つまらないものを
大事にすると
大事なもの
粗末にする
大事なもの
本当に大事だと

いうことが
何年かかたら
わかるのだろう

人生は

いっぺんしかない
やりなおしもきかない
つまらない人生か
中身のある人生か

今日が大事なのに。

